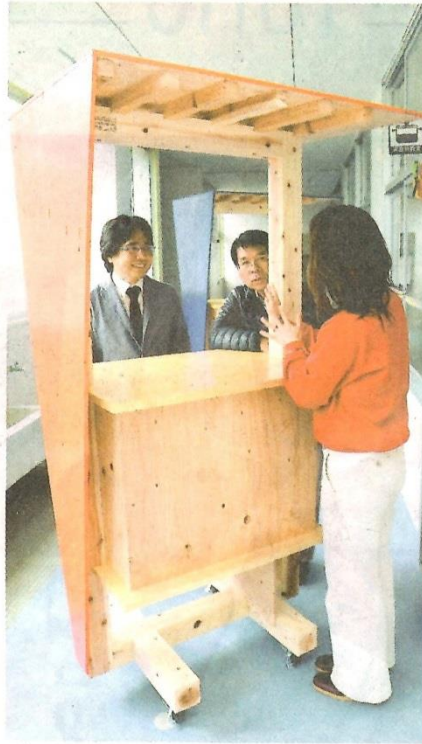


ミニ屋台 活躍の予感

ハイヤ祭りで試験設置

天草市牛深町
「企画会議」製作



崇城大の西郷正浩准教授(左)の研究室と「牛深みなとまちづくり企画会議」が製作したミニ屋台＝天草市

小回りが利き、イベントなどで便利なミニ屋台12台が天草市牛深町にお目見えした。18、19の両日に開催される牛深ハイヤ祭りにPR

を兼ねて登場。立食スペースなどとして活躍しそうだ。

ミニ屋台は、同町の各種13団体の若手メンバーによって昨年発足

案した。同会議は、にぎわい創出の指針「牛深みなとまちづくり基本構

想」を踏まえ、崇城大の西郷正浩准教授の研

究室(建築学)と連携。冬場の名物で物産市の「あかね市」を活気づける方策を探り、「イベントで住民が気軽に

出店できるように」とミニ屋台づくりを思い

ついた。高さ約2メートルのミニ屋台は屋根付きで、大きさは半畳ほど。三角形をした側面のデザインが目を引き、キャスターで簡単に動く。天草の杉材を使い、地元建設会社が製作した。

多くの来客でにぎわうハイヤ祭りには、臨時の観光案内所や飲食ができる立食台として試験的に使われる。同支所は「祭りでの意見を元に運用法を詰め、市民への貸し出しを始めた」としている。

(石本智)